



学校だより

令和6年 1月31日

横浜市立榎が丘小学校

～豊かにかかわり合い、しっかり学ぶ、心身ともに健やかなえのきの子～

TEL 045(983)1067 FAX 045(983)5284

HPアドレス <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/enokigaoka>



ウグイス色ってどんな色？

副校長 澤 勉

早朝の学校のまわりでは、多くの野鳥が遊んでいます。一年を通して騒いでいるカラス。緑が豊かな時期にはプールで遊ぶカモ。そして今は、スロープ門の木々に、仲睦まじいメジロのつがいが見られます。

眼の縁が白いため「メジロ」と名付けられたこの鳥ですが、体の色は一般的にウグイス色と呼ばれています。しかし「ホーホケキョ」とさえずるウグイスの体色は暗い緑褐色です。なぜなのでしょう。花札の「梅に鶯」の鳥の色や山手線は「メジロ色」ではなく「ウグイス色」、青エンドウで作った餡も「うぐいす餡」です。

メジロは柔らかな色調の黄緑の羽をしており、性格も活発で比較的慣れやすく、かつては飼育されることも多かったそうです。花樹の蜜を好むため、春先には庭に来て「チー、チー」とさえずりながら梅や椿の蜜を吸い、たまに花を散らしたりするのでよく目に付きます。

一方、ウグイスは地味な灰がかった緑褐色の羽で非常に臆病な性質。人里の奥や藪の中で生息しており、なかなか姿を現しません。オスが「ホーホケキョ」と朗々とした声で鳴くことは、皆様もご存じの通りです。

春の柔らかな青空の下、メジロが遊ぶ梅の枝のその奥から「ホーホケキョ」の歌が聞こえたら、声の持ち主を小さなかわいらしい黄緑色の小鳥だと思うことは当然でしょう。そして、その美点だけが結びつけられ、イメージが一人歩きしてしまったのかもしれない。

さて、イメージの一人歩きですが、私たちの周りにもまだまだあふれています。情報が多くなった現在でも、「〇〇だから…」というステレオタイプなフレーズは未だに多く耳にします。そこで、これからの「超」情報化社会で生きていく子どもにつけたい力は次の二つかと思います。一つは「多種多様な情報を正しく選び、活用する力」、そしてもう一つは「物事を多面的に見る力」ではないでしょうか。

「多種多様な情報を正しく選び、活用する力」については、情報リテラシーやICT活用という切り口でマスコミ等に取り上げられているので、ここでは割愛します。もう一つの「物事を多面的に見る力」は、自分と物事、自分と他の人を客観的に見ることができる力（メタ認知能力といわれるものです。）が必要になります。自分を客観視することは大変難しいのですが、それを実現するためには、まずは学習内容を「自分事」とすること、さらに友だちの思いや願いも、自分と同じように大切にすることができるよう学びを続けていくことが必要です。そのような学びを「学校」という集団の中で繰り返していくことにより、学級の営みを別の自分が見つめるようなメタ認知能力が育ち、「物事を多面的に見る力」につながります。そして、子どもが「多種多様な情報を正しく選び、活用する力」「物事を多面的に見る力」を身につけることにより、自身の未来に新たなコンセプトやイノベーションを創り出す、つまり、広い世界に羽ばたいていくための素地ができていきます。

春に向かい、小鳥たちのとまっている小枝の冬芽も少しずつ大きくなってきました。身近な自然の中にある春の訪れを感じながら、健康に留意し、新しい学年を迎える準備をどうぞよろしく願います。